

第10回企画展

呉へ！ —動員学徒と女子挺身隊の日常— 戦時下の少年少女たち



女子動員学徒の作業風景 提供:安藤昇氏

期 間

平成20年7月23日[水]～8月25日[月]

場 所 大和ミュージアム 1階 大和ホール

開館時間 午前9時～午後7時 期間中は無休

料 金 一般(大学生以上)… 300円(700円)

高校生…………… 200円(400円)

小・中学生 …… 100円(200円)

※()内は常設展示とのセット料金

呉市海事歴史科学館

 大和ミュージアム

お問い合わせ 〒737-0029 広島県呉市宝町5-20 TEL 0823-25-3017 <http://www.yamato-museum.com/>

館長あいさつ

昭和に入って、日本は20世紀最大の戦争を経験しました。そして、すべての国民が戦争に巻き込まれていったのです。その中には、実際に戦地へ赴いた兵士はもちろんのこと、国内で食糧や兵器の増産に携わった人々も含まれています。

今回の企画は、戦争に動員された人々のうち、呉で兵器の生産に携わった少年・少女たちが実際にどういう暮らしをしていたのか、そして、彼らの目を通して終戦までに何がおこったのかを資料や写真を通して明らかにします。

呉海軍工廠と広海軍工廠、第11海軍航空廠には、呉市内だけでなく、中国・四国・九州地方から男女を問わず多くの人々が動員されました。動員された少年・少女は、昼間は工廠で危険な作業を行い、また絶えず空襲の危険にさらされていました。しかし、そのような生活の中にも、遠方から動員された人の寄宿舎では、余暇には音楽会やスポーツ大会を開催するなど、若者らしい一面もありました。

実際に動員された人々が何を体験し何を思ったのか、そして体験と記憶を私たちがどう受け継いでいくかを考えるきっかけとなれば幸いです。

大和ミュージアム館長
戸高 一成



提供：沢原喜多子氏

「司令部挺身隊一同」

昭和19(1944)年から20年に、呉鎮守府で写されたもの。女子挺身隊は、14歳から25歳までの未婚・無職で学校に通っていない女性によって組織され、昭和19年には、1年間の動員が義務づけられました。



矢岡壮介氏画

絵画「夜勤明けの浴槽風景」

画家矢岡壮介氏によって描かれた絵。矢岡氏が、大分師範学校報国隊で呉海軍工廠に学徒として動員された体験をもとにしています。動員された学徒や女子挺身隊の労働は、途中から二交替、三交替制となりました。



所蔵：鳥取敬愛高等学校

鳥取女子商業学校の学徒が作業中着た衣服

鳥取女子商業学校の学徒が着ていた上着。左腕には学校名の書かれた白い布が、前身頃の右内側には住所と名前が、縫いつけてあります。鳥取女子商業学校は、戦時中鳥取高等家政女学校から改称されました。

語り部トークイベント

期間中の土曜日または日曜日に体験者の「語り部トークイベント」を実施する予定です。



アクセス

電車・バスでお越しの場合
JR呉駅から徒歩5分
呉市営バス宝町中央循環線
「ゆめタウン・大和ミュージアム前」下車徒歩1分
お車でお越しの場合
クレアライン呉ICから約5分
フェリーでお越しの場合
呉中央橋から徒歩約1分

駐車場

- 第1専用駐車場・65台
1時間100円(24時間営業)
- 第2専用駐車場・220台
1時間100円(8:00~24:00)

— 呉市海事歴史科学館 —
大和ミュージアム

〒737-0029 広島県呉市宝町5-20 TEL 0823-25-3017
<http://www.yamato-museum.com/>